



TITLE:

京大広報 No. 106

AUTHOR(S):

京都大学広報委員会

---

CITATION:

京都大学広報委員会. 京大広報 No. 106. 京大広報 1975, 106: 478-478

ISSUE DATE:

1975-02-25

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/209585>

RIGHT:

# 京大広報

No. 106

京都大学広報委員会

## 昭和50年度入学者選抜学力試験 の実施について

昭和50年度の本学入学試験については、総長を委員長とする入学試験委員会を中心に、実施計画の検討が進められてきたが、その主要な点は下記の通りである。

### 1. 期日および教科

- 3月3日（月） 国語，数学  
3月4日（火） 外国語，理科  
3月5日（水） 社会

### 2. 入学試験場の割当てについて

2月12日の入学試験委員会において、試験場割当てが下記の通り決定された。

学 部	使 用 す る 教 室
文 学 部	教養部
教育学部	時計台2階大ホール
法 学 部	法学部，経済学部，文学部
経済学部	教養部
理 学 部	京都予備校
医 学 部	医学部
薬 学 部	薬学部
工 学 部	工学部
農 学 部	農学部

このうち理学部については、教養部1か所で試験を行うのが通例であったが、本年は全

体の志願者数の増加と学内の収容可能数の減少のため、教養部と理学部の2か所に試験場が分かれる原案となった。しかしこの原案について、同学部の入学試験場が遠く離れた2か所に分かれ、入試事務室も2か所に置かなければならないこと、特に理学部は多くの小教室に分かれるため、監督者数に不足を来すことなど、実施上極めて困難であることが考慮された結果、全学部が学内で入学試験を行うことが本年の原則であったけれども、理学部を例外として上記の通り最終的に入学試験委員会が決定したものである。

### 方針について

現在教養部において学費値上反対のストライキが行われている。特に2月20日の代議員大会以来、入学試験に教養部の教室を使用することは、ストライキに対する「敵対」とあるという主張が強くなされている。しかし本学としては、入学試験に教養部の教室を使用すること自体は、原則的に、今回のストライキを決議した学生の自治とは無関係であること、しかも入学試験は、大学に課せられた一大社会的責務であり、実際問題としても既定実施計画の変更によって受験生に混乱と動揺を与えるべきではないというのが総長の見解であり、この見解の趣旨に沿って学生の理解を得るよう努力するという方針が、部局長会議で一貫して了承確認されてきている。